



小 / 算数 / 4年 / 数と計算 /
わり算 / 理解シート

わり算は、どんなときに使われるの



おぼえて
いるかな

3年で学習したわり算では、次の2つの場合に、わり算が使われることは覚えておぼえていますね。もう一度たしかめてみます。



12 ÷ 4 = 3のわり算の式でたしかめてみよう。

① 4人に分ける。

- 12このあめを4人に同じ数ずつ分けると、1人分は3こ。

$$(あめ) \div (人数) = (1人分)$$

$$12 \div 4 = 3$$

- このように、12こを4人に同じ数ずつ分けるときの1人分の数を求めるときに使われます。

② 4こずつ分ける。

- 12このあめを1人に4こずつ分けると、3人に分けられる。

$$(あめ) \div (1人分) = (人数)$$

$$12 \div 4 = 3$$

- このように、12こを1人に4こずつ分けるときの人数を求めるときに使われます。

③のことが
4年で学習
するわり算
だよ。

③ 4年生では、120このあめを40人に分ける1人分は何こ

$$120 \div 40 = 3 \quad 1人分は3こ$$

120このあめを1人に40こずつ分けると何人に分けられる。

$$120 \div 40 = 3 \quad 3人に分けられる。$$



大切!

上の2つの場合にわり算は使われます。これは、

150 ÷ 30のように、数が大きくなっても同じです。